

教材名	指導事項・言語活動例	知識及び技能															
		(1) 言葉の特徴や使い方												(2) 情報の扱い方	(3) 我が国の言語文化		
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ
		と。	口形、発声や発音に注意して話すこと。	の打ち方 かき(一)の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。	の第1学年においては、別表の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字配当表」という。)においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。	文の中における主語と述語との関係に気付くこと。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。	書写に関する次の事項を理解し使うこと。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。			
くじらぐも			◎		・			○									
まちがいを なおそう			○														
しらせたいな、見せたいな	○		○														
かん字の はなし				◎													
ことばを たのしもう		○						○			◎						
じどう車くらべ								○									
じどう車ずかんを つくろう	・							○									
かたかなを かこう			◎														
どんな おはなしが できるかな			○			○											
たぬきの 糸車						○		○									
日づけと よう日				◎	○												
てがみで しらせよう								◎									
むかしばなしを よもう おかゆの おなべ																◎	
ことばの たいそう (なりきって よもう／くわしく きこう／ ことばで あそぼう)	・				◎			○			○						
どうぶつの 赤ちゃん								◎								○	
ものの 名まえ	◎				○												
わらしべちょうじゃ											◎						
かたかなの かたち			◎														
ことばあそびを つくろう	・				◎						○						
これは、なんでしょう		・						○									
ずうっと、ずっと、大すきだよ								・	○								
にて いる かん字				◎													
いい こと いっぱい、一年生	・							○									

思考力、判断力、表現力等																								
A 話すこと・聞くこと					B 書くこと										C 読むこと									
(1) 指導事項				(2) 言語活動例	(1) 指導事項				(2) 言語活動例		(1) 指導事項				(2) 言語活動例									
ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。	イ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。	ウ 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。	エ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。	オ 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。	ア 紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。	イ 尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。		ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。	イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。	エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。	オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。	ア 身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。	イ 日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。	ウ 簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。	イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。	イ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。	ウ 学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。
											◎						・		◎			☆		
								◎		○			☆											
										○														
									◎			☆				◎		○				☆		
						☆	・					◎			☆				○	◎			☆	
			○	◎						○	◎								○	◎				
										○														
										○														
○		・																				☆		
○	・			◎		☆														○	◎	☆		
								○	◎		・	・	☆											